



独立した第三者保証報告書

オリンパス株式会社

取締役 代表執行役 社長兼 CEO(最高経営責任者) シュテファン・カウフマン 殿

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社(以下、「SOCOTEC」という。)は、オリンパス株式会社(以下、「会社」という。)からの委託に基づき、会社が作成した主題情報(“GHG 排出量・エネルギー使用量・水使用量・廃棄物量・社会データ算定報告書(2024 年 3 月期)”(期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日))がすべての重要な点において規準に適合しているかについて限定的保証業務を実施した。

1 主題情報と規準

保証対象となる主題情報は、“GHG 排出量・エネルギー使用量・水使用量・廃棄物量・社会データ算定報告書(2024 年 3 月期)”(期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)に記載された会社と会社の連結会社(日本国内子会社 9 社、海外子会社 18 社)における日本及び海外の運営及び活動を対象範囲とする、“環境データ及び社会データ(別紙)に関する報告”である。

主題情報を作成する規準は“GHG 排出量・エネルギー使用量・水使用量・廃棄物量・社会データ算定規定(2024 年 3 月期)”である。

2 経営者の責任

“GHG 排出量・エネルギー使用量・水使用量・廃棄物量・社会データ算定報告書(2024 年 3 月期)”(期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)は、会社の経営者によって作成された。

会社の経営者は、そこで行われている主張、陳述及び主張の完全性(限定的保証を提供するために従事してきた主張を含む)、報告書内の全てのデータ及び情報の収集、定量化及び提示ならびに適用した規準、分析及び公表に責任がある。

会社の経営者は、報告プロセスをサポートし、故意または過失によるものであるかどうかにかかわらず、“GHG 排出量・エネルギー使用量・水使用量・廃棄物量・社会データ算定報告書(2024 年 3 月期)”(期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)に重大な虚偽記載がないことを保証するように設計された適切な記録及び内部統制を維持する責任がある。

3 保証会社の責任

SOCOTEC の責任は、主題情報がすべての重要な点において規準に準拠して作成されているかどうかについて、限定的保証の結論を表明することにある。

SOCOTEC は、SOCOTEC の定める検証手順及び「JIS Q 14064-3:2023 (ISO14064-3:2019) 温室効果ガスに関する声明書の検証及び妥当性確認のための仕様及び手引」並びに国際監査・保証基準審議会(IAASB)の国際保証業務基準(ISAE)3000(改訂)「過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」に準拠し、限定的保証業務を実施した。

限定的保証業務で実施する手続は、合理的保証業務で実施する手続と比べて、その種類、時期、範囲において限定されている。その結果、SOCOTEC が行った限定的保証業務は、合理的保証業務ほどには高い水準の保証を与えるものではない。

SOCOTEC が実施した手続は、不正又は誤謬を問わず重要な虚偽表示のリスクの評価をはじめとして、職業的専門家としての判断に基づいている。SOCOTEC の結論は、会社の内部統制に対して保証を提供するものではない。

SOCOTEC は、限定的保証における結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。



4 保証手続

SOCOTEC が実施した手続は、職業的専門家としての判断に基づいており、以下を含んでいるがそれらに限定されない。

- 会社が主題情報に関連して作成した方針や手続の評価
- 上記方針手続を理解するための会社担当者への質問
- 対象プロジェクトが適格性要件を満たしているかの確認
- 試算による根拠資料との照合、再計算
- 重要な仮定や他のデータに関する根拠資料の入手、照合
- 算定体制と手順の確認、データの収集及び記録管理の実施状況を確認するため、会社の本社、会津オリンパス株式会社及び Olympus Vietnam Co., Ltd.を視察した。

5 独立性と品質管理、力量の声明

SOCOTEC は、「ISO17021 適合性評価-マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項」の認定要求事項に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。又「ISO14065 温室効果ガス-認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項」に従ってマネジメントシステムを確立している。これらは国際監査・保証基準審議会による国際品質管理基準 1 と国際会計士倫理基準審議会による職業会計士の倫理規定における要求を満たすものであり、倫理規則、職業的専門家としての基準及び適用される法令及び規則の遵守に関する文書化した方針と手続を含む包括的な品質管理システムを維持している。

SOCOTECグループは、検査、試験、認証業務における総合的な第三者機関であり、世界の国々で品質、環境、労働及び情報セキュリティにかかわるマネジメントシステム認証業務やトレーニングサービスを実施しており、環境、社会情報のパフォーマンスデータ及びサステナビリティ報告書保証業務を行っている。SOCOTECは、本保証業務を依頼した組織やその関連会社、ステークホルダーからも独立しており、公平性を損なう可能性や利害の抵触がないことを断言する。

本保証業務に携わったチームは、知識や当該産業分野における経験、そして本保証業務に関する力量基準に基づき構成されていることを保証する。

6 報告書の利用

限定的保証業務におけるSOCOTECの責任は、合意した条件に基づいて会社の経営者にのみ負うものである。従って、目的にかかわらずそれ以外のいかなる個人や組織に関しても責任を負わない。

7 結論

SOCOTECが実施した手続及び入手した証拠に基づいて、主題情報が規準に準拠して作成、開示されていないと信じさせる事項はすべての重要な点において認められなかった。

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

執行役員社長 二場 誠吾

Seigo Futaba

2024 年 7 月 12 日

環境データ及び社会データ

【環境データ】

表1 資源・エネルギー投入量

項目	数量	単位
電力(グリーン電力を除く購入電力量)	29,638	MWh
都市ガス	5,110	千m3
LPG	1,442	ton
LNG	0	ton
重油	186	kL
灯油	32	kL
軽油	967	kL
ガソリン	3,881	kL
温水	1,492	GJ
蒸気	7,081	GJ
地域熱	2,280	MWh
グリーン電力	100,829	MWh
太陽光[自社設置]	934	MWh
太陽熱[自社設置]	416	GJ

表2 組織内のエネルギー消費量の内訳

項目	数量	単位
直接	都市ガス	64,145 MWh
	LPG	20,062 MWh
	LNG	0 MWh
	重油	2,014 MWh
	灯油	324 MWh
	軽油	10,212 MWh
	ガソリン	36,009 MWh
	小計	132,766 MWh
間接	電力	29,638 MWh
	温水	493 MWh
	蒸気	2,341 MWh
	地域熱	2,280 MWh
	グリーン電力	100,829 MWh
	太陽光[自社設置]	934 MWh
	太陽熱[自社設置]	116 MWh
	小計	136,631 MWh
合計	269,397	MWh

表3 再生可能エネルギー使用量

項目	数量	単位
再生可能エネルギー	101,879	MWh

表4 温室効果ガス

項目	数量	単位
エネルギー系CO2(マーケットベース)	42,380	t-CO2e
非エネルギー系CO2	0	t-CO2e
合計	42,380	t-CO2e

表5 CO2排出量(Scope 1、2)

項目		数量	単位
Scope1		27,255	t-CO2e
Scope2	マーケットベース	15,125	t-CO2e
	ロケーションベース	55,175	t-CO2e
小計	Scope1+2(マーケットベース)	42,380	t-CO2e
	Scope1+2(ロケーションベース)	82,430	t-CO2e
Scope3		787,822	t-CO2e
合計	Scope1+2(マーケットベース)+3	830,202	t-CO2e
	Scope1+2(ロケーションベース)+3	870,252	t-CO2e

表6 CO2排出量(Scope3)

項目		数量	単位
カテゴリー1	購入した製品・サービス	528,598	t-CO2e
カテゴリー2	資本財	108,721	t-CO2e
カテゴリー3	Scope1,2に含まれない 燃料及びエネルギー関連活動	15,755	t-CO2e
カテゴリー4	輸送、配送(上流)	43,345	t-CO2e
カテゴリー5	事業から出る廃棄物	3,415	t-CO2e
カテゴリー6	出張	28,410	t-CO2e
カテゴリー7	雇用者の通勤	12,230	t-CO2e
カテゴリー11	販売した製品の使用	23,613	t-CO2e
カテゴリー12	販売した製品の廃棄	23,735	t-CO2e

表7 廃棄物排出量・埋立量

項目		数量	単位
廃棄物 排出量	合計	5,315	ton
	リサイクル量	4,467	ton
	その他の廃棄物量	848	ton
埋立量		184	ton

表8 有害廃棄物排出量

項目		数量	単位
有害廃棄物 排出量	合計	222	ton
	リサイクル量	159	ton
	その他の廃棄物量	63	ton

表9 水使用量

項目	数量	単位
合計	721	千m ³
水道水	338	千m ³
地下水	383	千m ³

【社会データ】

〈労働安全衛生〉

表10 休業災害件数

国・地域	数量	単位
日本	3	件
米州	8	件
欧州	14	件
アジア・オセアニア	1	件
合計	26	件

表11 労働災害死亡者数

国・地域	数量	単位
日本	0	名
米州	0	名
欧州	0	名
アジア・オセアニア	0	名
合計	0	名

表12 休業災害(1日以上)度数率[LTIFR]

国・地域	数量
日本	0.15
米州	0.86
欧州	2.04
アジア・オセアニア	0.13
合計	0.60